

## 協 議 （ 議 事 ） 録

議 題	第 22 回地域公共交通会議及び地域公共交通活性化協議会 合同会議
日 時	平成 27 年 12 月 21 日（月） 10 時 00 分～12 時 00 分
場 所	3 階大会議室
出席者	<p>&lt;委員&gt;</p> <p>井上委員、伊佐委員、橋本委員（代理：安東副市長）、東委員（代理：石橋氏）、柳委員、江上委員、山下委員、大島委員、今村委員、吉野委員（代理：野田氏）、詫間委員、石上委員、富田委員（代理：大迫氏）、高塚委員（代理：長屋氏）</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>国道・交通対策課 5 人</p>

### 《結果》

- 議案第 1 号 平成 27 年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について（案）【承認】
- 議案第 2 号 平成 27 年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価  
 （生活交通確保維持改善計画に基づく事業）について（案） 【承認】
- 議案第 3 号 基山町コミュニティバスの鳥栖市弥生が丘地区への乗り入れについて（案）【承認】

### 《意見等》

（平成 27 年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について）

- ミニバスについては、高齢者の利用がほとんどであり、多くの方が高齢者福祉乗車券を利用している。外出機会の支援に寄与しているが現状、6 冊までの上限があり毎回利用する方は足りないので増やしていただけないか。
- ミニバスの利用実態調査でも、週 3 日利用される方から福祉乗車券を増やしてほしいと多くの要望が寄せられているが、市の財政負担も増えるので担当課と協議したい。
- 山都町への延伸が進まないのはなぜか。
- 旭地区循環線の利用者数が 1 便 1 人以下であったため、国庫補助要件である 1 便 1 人以上を子クリアできるか注視していた。減便による効率化もあり 1 人以上をクリアできているので地元協議を進めていきたい
- 旭地区については、鳥栖市市街地へは接続していないが、地元の声をどう捉えているのか。
- 旭地区循環線については、これまでも地元より鳥栖駅や新鳥栖駅への接続の要望がなされているが、運行距離が伸びると減便しないと対応ができないが、4 月より減便し 6 便となりさらなる減便は効率的ではないと考える。